

第31回日本時間生物学会学術大会

趣意書

共催セミナー

企業展示・書籍展示

プログラム抄録集広告

寄附

第31回日本時間生物学会学術大会

会長 池田 真行

(富山大学 理事・副学長)

目次

ご挨拶.....	2
開催概要.....	3
共催セミナー 募集要項	4
企業展示・書籍展示 募集要項.....	5
プログラム抄録集広告 募集要項.....	7
寄附 募集要項	8
第31 回日本時間生物学会学術大会 プログラム (案)	9
第 31 回日本時間生物学会学術大会 収支予算.....	10
主催機関の役員氏名・これまでの学術大会開催実績	11

各 位

ご挨拶

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、第31回日本時間生物学会学術大会を2024年11月16日（土）～17日（日）の2日間、富山国際会議場にて開催する運びとなりました。

日本時間生物学会は、1994年に基礎生物学系の生物リズム研究会と臨床医学系の臨床時間生物学会が合流して始まり、前身から考えると40年の歴史のある学術団体です。細菌・植物・昆虫からヒトにいたる生物を対象とし、時計遺伝子の転写翻訳から、分子のリン酸化、イオンや代謝リズムとの連関、行動科学、さらにはフィールドワークを含む生態学的な研究など多種多様な研究の最新の成果発表が行われます。また、概日という長い周期（あるいはそれ以上の長周期）現象を研究対象にするが故に、工夫を凝らした計測技術などを目の当たりにすることができるのも、本学会の魅力の一つかもしれません。

基礎科学の価値が何かと問われる昨今ではありますが、時間生物学会は基礎生命科学や理論生物学からヒトの寝起きのリズムや投薬時間戦略までを繋げる素晴らしい学術フォーラムであります。時間生物学においては、ノーベル賞研究に結び付いた時計遺伝子の研究や、分子振動子の研究がハイレベルな学術誌に数多く掲載されるなど、重要な柱であることは言うまでもありませんが、狭量的な1つの生物学専門分野に止まらず、分野横断的に広くその価値を共有できるようにという思いから、「振動子研究のその先へ」を今回の大会のテーマに掲げさせていただきました。「その先」の意味は参加者の皆様の解釈次第です。会員の英知の結集により、大会が時間生物学の新展開に繋がるマイルストーンになることを祈念しております。

貴社におかれましては、上趣意をお汲み取りいただき、本学会への御協力を賜るようお願い申し上げます。末筆ながら貴社のますますのご発展とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2023年10月吉日

第31回時間生物学会学術大会

会長 池田 真行

(富山大学 理事・副学長)

池田 真行 

開催概要

1. 会議の名称

第31回 日本時間生物学会学術大会

2. 開催期間

2024年11月16日（土）～11月17日（日）

3. 開催場所

富山国際会議場

〒930-0084 富山市大手町1番2号

TEL 076-424-5931（代）

4. 主催

日本時間生物学会（役員等は12ページ参照）

大会組織委員会

池田 真行（富山大学 理事・副学長、大会長）、吉川 朋子（富山大学 国際機構、大会事務局長）

藤 秀人（富山大学 薬学部）、望月 貴年（富山大学 国際機構）、森岡 絵里（富山大学 理学

部）、内田 仁司（富山大学 医学部）、三枝 理博、前島 隆司、安藤 仁（金沢大学 医学部）、程

肇、瓜生 耕一郎（金沢大学 理学部）、安倍 博（福井大学 医学部）、大塚 剛司（岐阜大学 応用

生物科学部）、柴田 重信（広島大学 医学部）、安尾 しのぶ（九州大学 農学部）

5. 参加者数

約350名

6. 大会の概要（構成） ※予定

特別講演2題、シンポジウム6セッション、受賞講演、一般演題（ポスター）、ランチョンセミナー他（10ページ参照）

7. 大会プログラム案、主催機関の役員、これまでの開催実績

9～10ページ参照

8. お問い合わせ先

第31回日本時間生物学会学術大会 運営事務局

富山大学国際機構

〒930-8555 富山県富山市五福3190

TEL：076-445-6972（直通） E-mail：tomokoyn@ctg.u-toyama.ac.jp

事務局長：吉川 朋子

共催セミナー 募集要項

(1) 会期：2024年11月16日（土）～17日（日）

会場：富山国際会議場

(2) 会場設定：ご希望・ご予定内容を申込書によりご提出いただき、主催者にて調整の上決定させていただきます。会場数に限りがあるため、ご希望に添えない場合もございます。あらかじめご了承ください。

(3) 会場仕様：機材・備品は学会で使用するものをそのままご利用いただけます。会場・日程の割当てなどは申込締切後、講演内容、演者の予定等を考慮し主催者にて決定いたしますので、ご一任願います。

(4) 共催費：

種別	開催日（予定）	会場	募集数	共催費（税込）	
1	ランチョンセミナー1	11月16日（土）	多目的会議室 （約300席）	1	¥500,000
2	ランチョンセミナー2	11月17日（日）	多目的会議室 （約300席）	1	¥500,000

※ 共催費に含まれるもの（基本使用）会場費（控室含む）、音響・照明設備使用料、発表用機材・備品使用料（スクリーン、液晶プロジェクター、PC周辺機器、レーザーポインター等）

(5) 申込方法：下記リンクより必要事項をご記入の上お申し込みください。

<https://forms.office.com/r/GaP5T7Haw5>

(6) 申込締切：2024年4月26日（金）

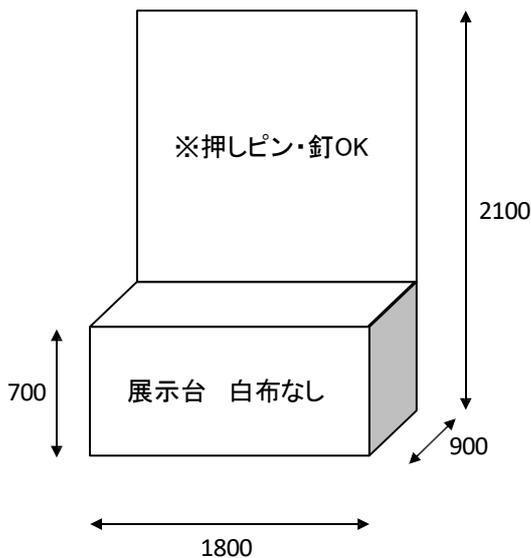
※ その他、詳細に関しましては申込受付後、事務局よりご案内いたします。

※ 座長・演者の候補を選出されましたら、ご本人に打診される前に、必ず事務局にご連絡ください。また、主催者側にて指名させていただく場合もございますので、ご了承ください。

※ 座長・演者の宿泊・交通につきましては、貴社にてお手配ください。

企業展示・書籍展示 募集要項

- (1) 企業展示：1小間 ¥100,000-（税込）、書籍展示：¥30,000-（税込）
- (2) 会場：富山国際会議場
- (3) 募集数：10小間（予定）
スペースに限りがありますので、企業様あたり2小間以内でお願いいたします。
- (4) 展示期日：設営 11月15日（金） 18:00～21:00 あるいは 16日（土） 9:00～
展示 11月16日（土）設営終了後～19:00
11月17日（日） 9:00～18:00
撤去 11月17日（日） 17:00～20:00
- (5) 仕様：企業展示仕様（予定）



※ 書籍展示は展示台のみ

※ 出展小間の配置などは申込締切後、主催者にて決定いたしますので、ご一任願います。

※ 社名版、白布は貴社にてご準備ください。個別証明、その他電源工事などご希望の場合は別途料金となります。運営事務局までご相談ください。

- (7) 申込方法：下記リンクより必要事項をご記入の上お申し込みください。

<https://forms.office.com/r/GaP5T7Haw5>

- (8) 申込締切：2024年7月31日（水）

※ 募集小間数に達し次第、申込を締め切らせていただきます。
※ 申込受付後に、請求書をお送りいたします。

■ 禁止事項

下記の項目に抵触する事項を禁止いたします。

- 1) 消防法、建築法、その他関係法令、会場規定により禁止されている項目に抵触する行為。
- 2) 小間外での展示活動、参加者、他の出展者に対して危険または迷惑をかける行為。本学会、展示会の品位を下げるような行為。

■ 出展物の管理および事故

- 1) 各出展物の管理は出展者が責任を負うものとし、盗難・紛失・損害等について、主催者は補償を含めた一切の責任を負いかねます。各社にて保険に加入する等の措置をお取りください。
- 2) 出展者の行為により事故が発生した場合は、当該出展者の責任において解決するものとし、主催者はこれに対し一切の責任を負いません。

プログラム抄録集広告 募集要項

- (1) 広告媒体名：プログラム抄録集
- (2) 配布対象：時間生物学会会員
- (3) 発行部数：600部
- (4) 掲載料及び募集数：6社（Aタイプ2社、Bタイプ4社）

規格番号	タイプ	色	掲載料（税込）
Aタイプ	A4 1頁	モノクロ	¥60,000
Bタイプ	A4 1/2頁	モノクロ	¥30,000

- (5) 申込方法：下記リンクより必要事項をご記入の上お申し込みください。
<https://forms.office.com/r/GaP5T7Haw5>

- ※ 申込受付後に、原稿ファイルの提出方法をご案内します。
- ※ 申込受付後に、請求書をお送りいたします。

- (5) 申込締切：2024年6月28日（金）
 - ※ 募集数に達し次第、申込を締め切らせて戴きます。

寄附 募集要項

- (1) 名 称：第31回日本時間生物学会学術大会 運営事務局 寄附
- (2) 募金の目的：第31回日本時間生物学会学術大会 運営事務局 運営費用
- (3) 一口 2万円
- (4) 申込方法：本募金趣意書にご賛同・ご支援いただけます際は、下記リンクより必要事項をご記入ください。
<https://forms.office.com/r/GaP5T7Haw5>
- (5) お振込先：富山第一銀行 五福支店 (普通) 3 3 7 9 1 0
日本時間生物学会第31回学術集会大会準備委員会 代表 池田 真行
- (6) 申込締切：2024年7月31日(水)

第31回 日本時間生物学会学術大会プログラム（案）

詳細は今後決定いたします

	11月16日（土）	11月17日（日）
9:00		
10:00	シンポジウム	シンポジウム
11:00	シンポジウム	シンポジウム
12:00	特別講演	特別講演
13:00	ランチョンセミナー	ランチョンセミナー
14:00	データブリッツ	シンポジウム
15:00		シンポジウム
16:00		総会・受賞者講演
17:00	ポスター討論	
18:00		優秀発表賞表彰・閉会式
19:00	懇親会	
20:00		

第 31 回日本時間生物学会学術大会 収支予算

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
参加登録費	1,720,000	会場利用料金	1,150,000
懇親会費	900,000	備品・付属設備利用費	1,050,000
要旨集販売	60,000	会場設営費	1,000,000
学会本部補助	500,000	ウェブページ制作・保守費	200,000
学会本部補助（国際）	500,000	当日運営人件費	210,000
自治体補助	610,000	印刷・通信費	110,000
共催シンポ	700,000	懇親会費	900,000
ランチョンセミナー	500,000	招聘関係費	800,000
寄付金	100,000	海外招聘関係費	900,000
企業展示	500,000	振込手数料	3,000
広告	240,000	事務局消耗品費	7,000
		事務局人件費	300,000
合計	6,330,000	合計	6,330,000

・透明性ガイドラインに関する同意について

本学術集会では、本学術集会に要した費用に関して、日本製薬工業協会および日本医療機器産業連合会が示す「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき、「貴社と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学会等の会合開催にかかる費用を 貴社のウェブサイト上に公開 することに同意します。なお、別途同意書への押印・サインをご希望の方は、運営事務局までお問い合わせください。

主催機関の役員氏名・これまでの学術大会開催実績

(1) 主催機関

日本時間生物学会 (<http://chronobiology.jp/>)

理事長 重吉 康史 (近畿大学)
事務局長 小山 時隆 (京都大学)
監査委員 中村 渉 (長崎大学) 他 理事16名

(2) これまでの学術大会開催実績

第16回 2009年 大会長 岡村 均 (京都大学) *
第17回 2010年 大会長 三島 和夫 (国立精神神経センター)
第18回 2011年 大会長 近藤 孝男 (名古屋大学)
第19回 2012年 大会長 本間 さと (北海道大学)
第20回 2013年 大会長 重吉 康史 (近畿大学)
第21回 2014年 大会長 大戸 茂弘 (九州大学)
第22回 2015年 大会長 上田 泰己 (東京大学)
第23回 2016年 大会長 吉村 崇 (名古屋大学)
第24回 2017年 大会長 沼田 英治 (京都大学)
第25回 2018年 大会長 前村 浩二 (長崎大学)
第26回 2019年 大会長 三枝 理博 (金沢大学)
第27回 2020年 大会長 条 和彦 (名古屋市立大学)
第28回 2021年 大会長 竹村 明洋 (琉球大学)
第29回 2022年 大会長 飯郷 雅之 (宇都宮大学)
第30回 2023年 大会長 条 和彦 (名古屋市立大学) *

* 日本睡眠学会との合同大会

(3) これまでの海外招待演者 (抜粋)

2016 Carl H Johnson (Vanderbilt University)
Johanna H Meijer (Leiden University)
John O'Neill (University of Cambridge)
Achim Kramer (Charité-Universitätsmedizin Berlin)
Uli Schibler (University of Geneva)
2017 Barbara Helm (University of Glasgow)
2018 Shihoko Kojima (Virginia Technical University)
Emi Nagoshi (University of Geneva)
Alec Davidson (Morehouse University of Medicine)
Shin Yamazaki (University of Texas Southwestern)
Gene D Block (University of California Los Angeles ・ 学長)
2019 Erick Herzog (University of Washington)
2021 Tobias Kaiser (Max Plank Institute)
2022 Rae Silver (Columbia University)